

## 研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内臓脂肪量に基づいた胃癌に対する胃切除において腹腔鏡下手術が及ぼす影響

### 1. 研究の対象および研究対象期間

対象となる方：2003年1月から2019年12月までに胃癌に対して手術を受けられた方

研究対象期間：2003年1月から2019年12月まで

### 2. 研究目的・方法

胃癌は全世界の癌死亡の第2位の疾患です。腫瘍の完全切除が胃癌に対する唯一の根本治療であり、内視鏡的切除適応外の病変に対しては胃切除術の適応となることが本邦の胃癌治療ガイドラインに明記されています。

近年、胃癌に対する根治手術として腹腔鏡下胃切除が広く行われるようになり、その安全性と根治性の検証が種々の臨床試験で明らかになっています。一方、内臓脂肪量で定義される肥満が、胃癌術後の短期・長期成績に影響を及ぼすことが報告されています。しかし、胃癌患者における肥満の程度と、腹腔鏡下手術が及ぼす影響については明らかではありません。本研究では昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科において施行された胃癌に対する胃切除症例600例の臨床情報（背景、血液検査、生理検査、CT検査、内視鏡検査、病理組織学的検査等）を収集し、胃癌患者を内臓脂肪量で定義した肥満の程度で分類し、腹腔鏡下手術が術後短期・長期成績に及ぼす影響を明らかにすることを目的としました。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから、2023年12月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術情報、術後合併症の発生状況、再発や死亡などの転帰

血液検査結果、レントゲン・CT画像、内視鏡検査画像、手術で摘出した組織の病理検査結果

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書

及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院消化器・一般外科

職名：助教

研究責任者：内田恒之

電話番号：045-971-1151